

逗子市 まち・ひと・しごと 創生総合戦略 進行管理表

総合戦略の基本目標と基本的方向

※各年度の（ ）は当該年度の想定目標

総合戦略における基本目標と効果を客観的に検証するための数値目標、講ずべき施策の基本的方向は次のとおりです。

総合計画と総合戦略を一体化するにあたり、中期実施計画の中に総合戦略の主な取り組みを位置付け、これを推進することで基本目標の達成をめざすものです。

基本目標 1 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

進捗状況評価

達成できなかった

指標	合計特殊出生率が1.53になっている。							
2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度			目標
1.41	1.23	1.46(1.47)	1.35(1.49)	未公表(1.51)	未公表(1.53)			1.53
基本的方向	- 若い世代が結婚・妊娠・出産・育児をしやすい環境づくりを進める。 - 子どもたちが学びやすい環境整備をさらに進め、子どもたちの生きる力をより一層高める教育を実践する。 - 男女が共に働きながら子育てしやすい環境を整えるなど、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取り組みを進める。							

基本目標 2 逗子市への新しいひとの流れをつくる

進捗状況評価

達成できなかった

指標	5年間の転入超過数が累計で1,000人になっている。							
2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度			目標
315人 * 累計1,009人	458人	633人	598人	628人(830人)	569人(1,000人)			1,000人
基本的方向	- 逗子市での居住を潜在的に希望している層を、逗子市への移住に確実に結びつけ、逗子市への定住を促進する。 「また訪れたい」「いつか訪れたい」から「住みたい」という気持ちになるようなシティプロモーションを推進する。							

基本目標 3	逗子市に暮らしながら「しごと」の希望をかなえる
---------------	--------------------------------

進捗状況評価
達成できなかった

指標	個人市民税納税義務者数が28,900人になっている。							
2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度			目標
28,165人	28,276人	28,263人	28,726人	28,926人(28,765人)	27,504人(28,900人)			28,900人
基本的方向	1 東京・横浜への通勤圏に位置する住宅都市として発展してきた逗子市の性格を踏まえ、逗子市に暮らしながら快適に「しごと」が行えるよう環境整備を進める。 2 商工業や漁業など逗子市の地域産業の活性化を図る。 3 ダイバーシティ（多様性）を受け入れながら、若者、女性、高齢者、障がいのある人などあらゆる立場の人が活躍できるよう、就労支援や新たな「しごと」の場などの創出を目指す。							

基本目標 4	魅力的で、誰もがいつまでも安心して健康に暮らせるまちづくりを推進する
---------------	---

進捗状況評価
達成できなかった

指標	「事情が許せば逗子に戻ってきたい」と回答する人の割合が80%になっている。							
2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度			目標
78.9%	78.1%	79.1%	84.4%	75.4%(80.0%)	77.0%(80.0%)			80.0%
基本的方向	1 市民の誰もが逗子市に住んでいることを誇りに思い、「いつまでも住み続けたい」と思えるような魅力的な地域づくりを進める。 2 市民同士のつながりを深め、安全安心のまちづくりを進める。 3 誰もがいつまでも健康でいきいきと暮らせるような環境づくりを進める。							